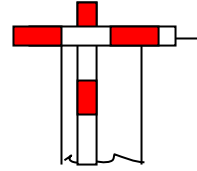


開削工事 工事工程写真

1 舗装取り壊し状況や掘削・床均し状況などを撮ります。

2 床掘が完了したら W H がわかるよう
右図のようにスケールをあて撮影します。



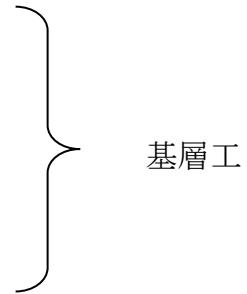
3 埋戻し砂、被り 30 cm は水道管等を守るためのもので道路管理者が積極的に求めるもの
ではありません。

4 下層路盤の転圧状況を（出来高を 2 のように）撮影します。
上層 〃 〃

5 基層工事前に スケールをあてて撮影

6 乳剤散布状況
(散布状況、端部の状況、散布後全景) を撮影

7 基層工 温度管理 温度を表示したものを撮影



8 表層工 基層工と同様に工程を撮ります。
(乳剤散布状況はプライムコート、タックコートとわかるように表記します)

9 区画線等がある場合はその状況を撮ります。

その他

- 各層の転圧状況の撮影を忘れた場合再度工事を指示することがあります。
- 軟弱地盤で工事される場合で且、路体部分の埋戻しについて相談してください。
- コンクリート、アスファルトカッターにて垂れ流し等の杜撰な工事を行った場合は廃掃法違反です。道路管理者として清掃等を指示することもあります。
- **別現場からの発生残土や、質の悪いゴミ混じりのような物の埋戻しは認めません。** 工程写真が出せない場合、前述残土を埋め戻した場合など再度工事を指示することがあります。
* 指導が度重なる場合、発生残土の行先、資材調達状況まで調査、資料要求、又、中間検査を入れさせていただくことがあります。
- 交通規制等を行う場合、安全管理（ガードマンの配置、誘導状況）がわかるよう撮影